

❁都祁中学校区



ふるさとでの学びを誇りに たくましく未来を切り拓く 都祁の子


▶都祁中学校区 地域教育協議会

地域・子どもの現状	校区は古くからの農山村の集落と新興住宅が混在している。校区の人々の学校に対する期待や関心は極めて高い。今年度、4小学校が統合再編され、新都祁小としてスタートした。今までの4小学校それぞれの取り組みを生かしながら、小学校教育を編成していく初年度となっている。都祁地域においても少子化や情報化などの社会の変化から受ける影響も大きく、行動の低年齢化、コミュニケーション能力の低下、運動能力の低下、基礎学力の低下、基本的な生活習慣の乱れなどが浮き彫りになってきた。
伸ばしたい子どもの具体的な力	<ul style="list-style-type: none"> ○たくましく未来を切り拓いていくための力（学力・体力・コミュニケーション能力） ○郷土都祁を誇りと思えるような豊かな感性 ○自分に関わってくれるさまざまな人々への感謝の心 ○自分の存在がまわりに役に立ち、受け入れられているという自己有用感
取組内容	<p>地域主催事業に積極的に子どもたちが参加できるような仕組みづくりを進め、地域教育協議会がサポートをし取り組んでいく。 子どもたちの力を伸ばすための事業への地域・保護者・各種団体の参画の呼びかけを地域教育協議会がサポートしていく。</p>

▶都祁中学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	都祁中学校は、奈良市の南東部大和高原に位置し、人口の割に地域面積が広く、片道1時間かけて自転車通学する生徒もいる。旧都祁村で唯一の中学校だったこともあり、地域を上げて中学校の諸行事に協力・理解を得られる。生徒は素直で地道に努力できる者が多く、部活動等でも大きな成果を残している。ただ、少子化や情報化などの社会の変化から受ける影響もあり、コミュニケーション能力の低下、運動能力の低下、基礎学力の低下が課題として出てきた。
伸ばしたい子どもの具体的な力	<ul style="list-style-type: none"> ○たくましく未来を切り拓いていくための力（学力・体力・コミュニケーション能力） ○郷土都祁を誇りと思えるような豊かな感性 ○自分に関わってくれるさまざまな人々への感謝の心 ○自分の存在がまわりに役に立ち、受け入れられているという自己有用感
取組内容	<p>全ての事業において、地域住民との交流を通してコミュニケーション能力の向上を目指す。「学力向上推進事業」では基礎的な学力、学習方法の確認をできる場としたい。また、都祁高原マラソンをはじめとする地域行事への参画を通してふるさとを誇りと思える感性や自己有用感の醸成を目指す。</p>

▶都祁小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>旧並松・都祁・吐山・六郷の4小学校統合再編により、平成29年4月に「都祁小学校」が創立され、1年が経とうとしている。平成29年度は、それぞれの地区や学校で行われてきた特色ある教育活動をもとにし、新しい学校としての校風作りや人間関係作りに取り組んできた。 児童の人間関係も月日を経るごとに強くなっていき、学校としての新しい文化ができつつある。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>校区がかなり広く、児童が互いに行き来できる状況にはない。そこで、引き続き互いにそれぞれの地域を知ることに取り組む。また、基礎学力や体力の充実とともに、人間形成に重点を置いた教育活動を展開していきたい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>○米や野菜を育てる野菜作り事業 ○校舎内外の環境を整えるための環境整備事業 ○地域の方々専門性もった人材を生かす学習支援事業</p> 

▶都祁こども園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本園は、認定こども園であるため、入園の時期や園で過ごす時間が違う子どもたちが混在している。そのため子ども達の中で経験の差や友達関係などに課題がある。また、ほとんどの子ども達が保護者の就労の理由で、朝早くから夕方遅くまで園で長時間過ごしていることや、4校区が統合されたため地域の範囲が広く、車で登降園がほとんどであることから、あまり自分達の住んでいる地域への関心は少ない状況である。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>友達や周りの大人に自分の思いを伝えると共に、人の話も聞き入れながら、友達と一緒に考えたり工夫したりして物事に取り組む力。</p>
<p>取組内容</p>	<p>身近な環境や地域の方との交流を通して、子ども達が地域への関心や感動体験を味わえるようにし、園生活に生かせるようにしていきたい。</p> 